

2023年(令和5年)5月オホーツク管内倒産集計

2023年6月2日

株式会社 東亜リサーチ

北見市北6条西5丁目1番地

Tel (0157) 23 - 6288

Fax (0157) 24 - 1033

4か月連続の発生 累積件数、負債額ともに前年比大幅増

発生件数2件、負債総額6,175万円

■前月比	件数	1件増加(2023年4月	1件)
	負債総額	1億825万円減少(1億7,000万円)
<hr/>			
■前年同月比	件数	2件増加(2022年5月	0件)
	負債総額	6,175万円増加(0円)

2023年5月の発生状況

2023年5月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)は、発生が2件、負債総額は6,175万円だった。前月と比べると件数は1件増加、負債総額は1億825万円の減少。発生のなかった前年同月比では皆増となる。

当月の2件は北見市の介護・老人ホーム運営業者と網走市のサッシ施工・販売業者。介護業者は同業他社との競合で収益面が低調に推移し、資金調達が限界に達したことから自己破産申請に至ったもの。サッシ施工業者は業容悪化により平成28年には事実上営業を停止しており、今回破産開始決定を受けた。

直近5年間の5月の発生状況を見てみると18年2件、19年1件、20年1件、21年1件、22年ゼロ件の推移で、平均発生件数は1.0件、同負債総額が1億7,340万円。5月は比較的大型倒産の発生が目立っていたが、今年の負債総額は直近5年間の平均値を下回っている。

2023年1～5月の発生累計

累計発生件数は6件、同負債総額が3億8,175万円。記録的な低水準で5月まで発生がなかった前年同期間と比べると皆増。

過去5年間の1～5月の発生推移は【右・表】の通りで、平均発生件数は5.2件、同負債総額は6億1,758万円。今年の負債総額は平均値内に止まっており、過去3番目に少ない件数と金額になっている。

過去5年間で今年1～5月の件数・負債額

年 別	件 数	負 債 額
2018年	8件	10億5,400万円
2019年	4件	2億5,090万円
2020年	7件	11億8,600万円
2021年	7件	5億9,700万円
2022年	0件	0円
2023年	6件	3億8,175万円

今後の見通しと問題点

5月8日から新型コロナウイルス感染症法上の分類がこれまでの2類から5類へ引き下げられ、以降の感染対策は個人や各事業者の個別判断に委ねられることとなったため、様々な行動制限が撤廃され経済活動の活発化に向けた動きが加速し始めている。

しかし、依然として続くロシア・ウクライナ問題の長期化や原油・原材料などの高騰に加え、6月からは電気料金の値上げも加わる。このほか人件費の上昇も続いており、これらのコストアップが企業の収益圧迫要因となっている。また、ゼロゼロ融資の返済開始によって資金繰りに影響を及ぼす企業も増えてくることから、伴走支援制度等を活用した各金融機関の迅速かつ柔軟な対応が求められる。

アフターコロナの局面を迎え、コロナ禍の影響を受けた各企業は稼ぐ力の回復や事業再構築などへの取り組みによって経営の立て直しを推し進める必要があるが、売上の伸び悩みや経費負担の増加によって資金繰りに行き詰まるケースも懸念されることから、管内倒産は今後緩やかに増加を辿る可能性は高い。

